

北広島市下水道ビジョン・
経営戦略 改定案

審議結果報告書（案）

審議結果報告書の提出に当たって

当審議会では、これまで4回の会議を開催し、専門的な立場や市民など各分野の委員からかつ達な意見が交わされ、有意義な審議となりました。

北広島市の下水道事業は、昭和47年の供用開始から50年を迎え、施設老朽化の進行と水洗化人口の減少が続く中、新型コロナウイルス感染症の影響による有収水量の減少に見舞われていますが、衛生的な生活環境を確保するため、引き続き適正な施設管理と老朽化施設の計画的な更新が求められています。

本改定案については、北広島市下水道事業の現状や課題を整理し、安全・持続・環境の3つの観点から基本方針が設定されており、それらを実現するための具体的取組が定められております。

主な改定の内容は、令和元年度に策定された下水道ストックマネジメント計画、新型コロナウイルス感染症の流行、令和5年度以降のボールパーク開業・北広島駅西口整備など、直近の情勢変化に基づく将来予測を行い反映させるものとなっています。

今後の投資においては、ストックマネジメント計画に基づいた施設の延命化や改築・更新の最適化による計画的かつ効率的な投資を行うこととしています。

一方、財源においては、企業債や補助金等を有効活用することで、計画期間中は、現行の料金水準により事業運営を維持できる見通しとなっており、投資試算と財源試算が均衡した計画となっていますが、公営企業会計への移行から3年目であり、引き続き資金の確保が課題ですが、本計画期間中においては着実に資金の増加が見込まれています。

最終章においては、単身世帯の増加や少子高齢化の進行による少量の下水道使用者の増加に対応するため、10 m³まで税抜1,000円の定額とする基本水量制の廃止について検討を進めることとしており、現行使用料体系の適正化に向けた前向きな姿勢が示されています。

以上のことから、本計画は概ね妥当な計画と認められます。

今後計画の推進にあたりましては、毎年度適正に計画に定めた取組事項及び投資・財政計画の進捗管理を行うとともに、社会経済情勢の変化に柔軟に対応しながら、経営の安定化に努められることを期待いたします。

なお、審議の過程において、次のような意見等がありましたので、付記し報告いたします。

記

1 最新データの掲載について

新型コロナウイルス感染症の影響を示すため、下水道使用料調定額のグラフが示されているが、データは令和2年度までとなっている。その後はどのような傾向にあるのか最新データ（令和3年度データ）を掲載し市民に示す方が良い。

2 SDGsについて

SDGsのゴール(目標)と北広島市における具体的取組の関連についての表があるが、「汚泥の有効活用」も、環境の観点からのSDGsのゴールに該当するのではないかと。また、他にも該当する取組があるか確認願いたい。

3 カーボンニュートラルについて

現在、日本全体でカーボンニュートラルに向けた様々な取組が進められている。下水道は、エネルギー消費が大きい処理施設などを有しており、温室効果ガス削減の効果が大きいことから、下水道事業としての温室効果ガス削減の取組やカーボンニュートラルに関する記述をこの計画に盛り込んでほしい。

4 耐震化率について

アクア・バイオマスセンターの耐震化率を54.5%に上昇させるとあるが、最終的な目標が設定されているのか。

5 マンホールカードの配布について

マンホールカードの配布実績を見ると市外や道外の方に多く配布している。このことは、多くの方が北広島市を訪れ、地域の観光振興につながっていると思うが、その点についてこの計画に掲載してほしい。

6 表現等の工夫について

管種の比率や経過年数割合の円グラフについては、雨水管と污水管に分けて掲載していただきたい。また、下水道使用料の原価の内訳を分かるようにすれば、市民も分かりやすく参考になると思う。

道内35市の下水道使用料比較のグラフについて、ある程度の人口規模がある市と比べた方が分かりやすいと思う。

7 人材の育成について

これからの水道・下水道を担う人材の育成は非常に重要である。下水道事業としてどのような人材を求め、どのように育成していくのかといった方向性を示す人材育成方針やビジョンがあれば記載してほしい。

8 DX(デジタルトランスフォーメーション)について

様々な分野でデジタル化が進んでいるが、北広島市下水道事業としてDXをどのように推進していくのかを示してほしい。

9 施設の老朽化と改築・更新の効果を示すイメージ図について

施設の老朽化が進行すると、健全度が下がり、緊急度は上がっていくこととなる。健全度(緊急度)がどのように経年変化し、また、改築・更新を実施することにより

それがどう変わっていくのかをイメージ図として示せばより市民の理解が深まると思う。

10 基本水量制の廃止等について

基本水量制を廃止し、1 m³からの従量料金制に変えた場合のメリットとデメリットを見せた方が市民はより分かりやすくなると思う。

その他の意見等については、別紙「議事概要」のとおりです。

【審議等の経過】

令和3年10月20日	審議依頼書交付、第1回北広島市上下水道事業経営審議会
令和3年11月29日	第2回北広島市上下水道事業経営審議会
令和3年12月22日	第3回北広島市上下水道事業経営審議会
令和4年2月9～17日	第4回北広島市上下水道事業経営審議会（書面開催）

【北広島市上下水道事業経営審議会委員】

会 長	高橋 彰
副会長	細谷 洋一
委 員	関谷 浩行
委 員	田中 健司
委 員	原口 淑子
委 員	檜山 純
委 員	廣上 嘉一
委 員	吉岡 広樹